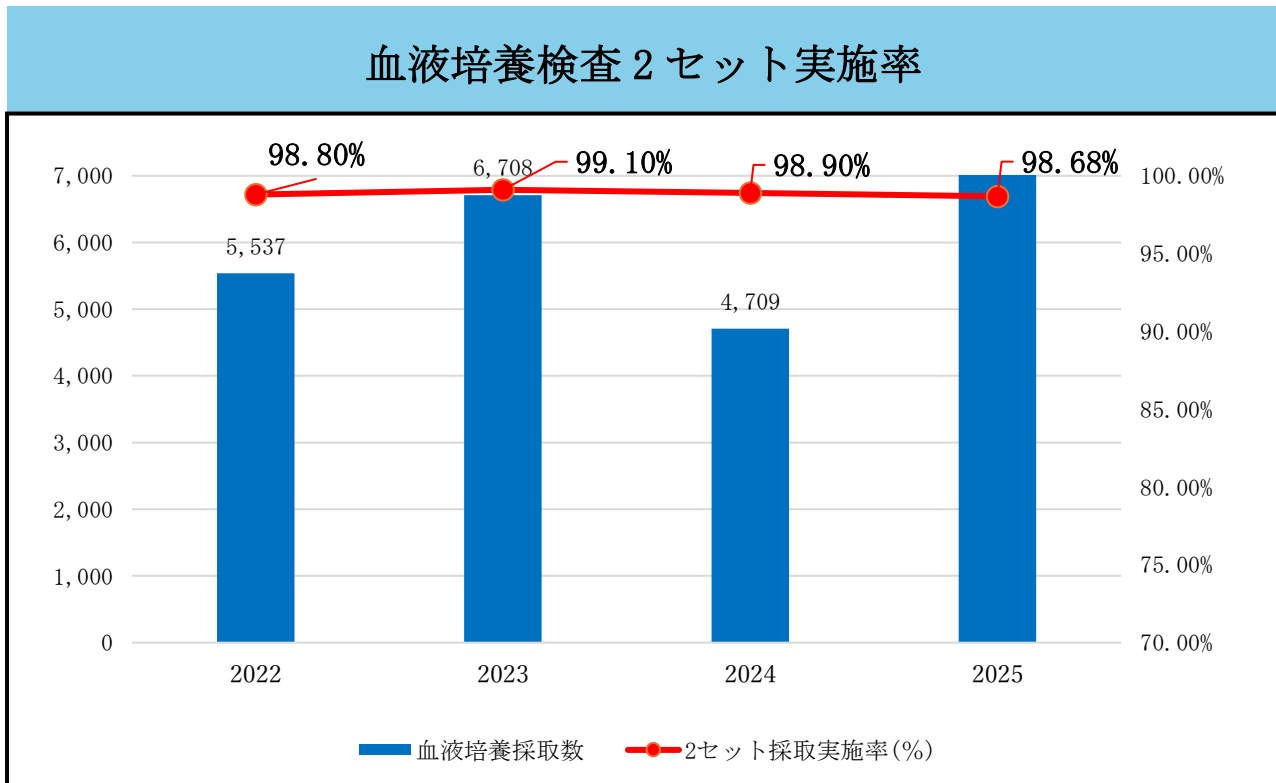


10. 血液培養検査 2 セット実施率



➤ 指標の説明

血液培養検査は、血液中に細菌や真菌がいるかどうかを調べ、適切な治療につなげるために重要な検査です。一方で、採血の際に皮膚の細菌が混入することがあり、正しい結果の判断が難しくなる場合があります。そのため、検査の精度を高めるために2セット以上の採取が推奨されています。

➤ 定義

本指標は、血液培養検査を実施した患者において、診断精度を高めるために推奨されている複数回採取（2セット）が実施されている割合を評価する指標である。

測定方法：2セット採取率（%）＝（分子／分母）×100

分子：血液培養検査を実施した患者のうち、同一エピソードにおいて2セット以上採取された患者数（人）

分母：血液培養検査を実施した患者数（人）

➤ 評価

当院では、血液培養検査を正確に行うために2回採取することを基本としており、98.9%の患者さんで適切に実施されています。今後もこの状態を維持していきます。